

第4回会合資料①

保存・公開に向けた今後の取組について

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 第3回会合の概要 | 1 |
| 2. 今後の取組（案） | 2 |
| 3. 第32軍司令部壕保存・公開ロードマップ（案） | 3 |
| 4. 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会当面のスケジュール（案） | 4 |

令和3年12月27日

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会

第3回第32軍司令部壕保存・公開検討委員会概要

〈課題〉

- ・公開するには安全対策や情報発信のための整備等が必要であるが、文化財に指定するためには実態調査のうえ、指定範囲については当時の状況のまま保存することが求められる。
- ・壕の保存には外気を取り込まない適切な管理が求められるが、公開するという事は、劣化が進むおそれがある。

「保存と活用は矛盾する」

「公開しなければ壕の価値を伝えられない」 (出典：南風原陸軍病院壕群Ⅰ 考古学調査報告書Ⅰ)

〈県からの提案〉

壕の全容解明に向け学術調査を続行しながら、公開に適した部分と文化財として保存していく部分を判定するための各種調査を段階的に実施する。

その際、時間や予算を効果的に活用し事業を進めるため、各種調査実施箇所の優先度を検討する。

〈主な委員意見〉

- ・壕の中枢部がどうなっているかが知りたい。そこの調査が進まない判断できない。
- ・第32軍司令部壕の全容（坑道の長さ、深さ、抗口の確認）調査をやってほしい。
- ・未発掘区間を把握するのは詳細調査の中でも第一優先。
- ・保存・公開までのロードマップを示してほしい。

第3回会合委員意見及び基礎調査の中間報告等を踏まえ取組（案）を作成。

○第1坑道（未発掘区間）の調査等を取組の優先事項とする。

○第2坑道・第3坑道及び第5坑道については、詳細調査の結果及び第1坑道の状況を踏まえ策定する基本構想に基づき対応する。

工期	第1坑道	第2坑道・第3坑道	第5坑道
短期 (R4~R8)	位置特定のための調査を進める。位置の特定ができた場合は、調査等を進め保存・公開の評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査（安全性検討調査、水関係調査）を進める 全範囲最新デジタル技術を活用して坑道内部を公開・発信 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査（安全性検討調査、水関係調査）を進める 全範囲最新デジタル技術を活用して坑道内部を公開・発信 坑口周辺の現況調査等を行い、安全対策の方法や坑口公開の可能性について検討
中期～長期 (R9~)	公開可能な箇所を選定を行いつつ、保存を優先する箇所については文化財指定制に向けた有効な調査を検討する	<ul style="list-style-type: none"> 全範囲最新デジタル技術を活用して坑道内部を公開・発信 詳細調査の結果及び第1坑道の状況を踏まえ策定する基本構想に基づき対応 	<ul style="list-style-type: none"> 全範囲最新デジタル技術を活用して坑道内部を公開・発信 詳細調査の結果及び第1坑道の状況を踏まえ策定する基本構想に基づき対応

3 第32軍司令部壕保存・公開ロードマップ（案）

実施項目・工期については取組の進捗状況や詳細調査の結果等を踏まえ見直し・更新を行う。

実施項目	短期								中期～長期（R9～）														
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																
1 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会	提言						適宜設置																
2 基礎調査																							
3 文献調査																							
4 詳細調査																							
(1)未発掘区間調査（第1坑道）			未発掘区間調査	試掘手法検討		試掘調査																	
(2)坑道内部安全性検討調査(試掘済区間)			状態確認調査・安全性検討		変位等モニタリング																		
(3)保全対象水源・地下水排除時の影響評価			地下水調査・影響検討		地下水モニタリング																		
5 評価（保存・公開場所の決定）・基本構想策定																							
6 整備・公開等																							
(1) 第1坑道 調査・整備・公開（優先事項1）								基本計画	整備計画	整備等													
										保存を優先する箇所について文化財指定に向けた有効な調査の検討													
(2) 第5坑道坑口 周辺現況等調査・公開可能性検討（優先事項2）			現況調査	安全対策・公開可能性検討						基本構想に基づき対応													
(3) 第5坑道 最新デジタル機器の活用・公開			Webツアー製作公開	Webツアー更新						基本構想に基づき対応													
(4) 第2・3坑道 最新デジタル機器の活用・公開										基本構想に基づき対応													
7 平和発信・継承（手法検討・発信）			発信可能なものから随時実施（調査状況発信、パネル展示等）								基本構想に基づき対応（資料展示等）												

4. 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 当面のスケジュール（案）

〈令和4年度保存・公開検討委員会について〉

審議内容に応じて技術検討グループ、平和発信・継承検討グループに分かれ調査及び検討を行う。
各グループの検討結果について同委員会へ報告・審議を行い、最終的に知事への提言としてまとめる。

年度	回数	内容案
R 3	第3回	(1)調査（基礎・詳細）の概要 (2)調査優先箇所の検討
	第4回	(1)今後の取組案の検討 (2)詳細調査方針について (3)文献調査の中間報告 (4)基礎調査の中間報告
	第5回	(1)今後の取組案の決定 (2)詳細調査内容の決定 (3)文献調査の最終報告 (4)基礎調査の最終報告
R 4	2回程度	(1)詳細調査の進捗確認 (2)今後の取組案の見直し (3)ソフト事業検討・情報発信 (4)提言作成 【技術検討グループ検討事項】(1)詳細調査の進捗確認 (2)当面の取組案の見直し (4)提言作成 【平和発信・継承グループ検討事項】(2)今後の取組案の見直し (3)ソフト事業検討 (4)提言作成